

岐阜民医連で初めての歯科 オープン!

すこやか診療所歯科 歯科医師 大竹 祥一郎



1月6日から予約を受け付け、内覧会当日も予約をしていられる方が多く、スタッフ一同とても喜んでいきます。患者様からは、「広いね」とまず驚かれます。また最新の設備が整っており「さすがみどり病院・すこやか診療所だね」とおっしゃる方がみえました。

受診された患者様からは「とても丁寧な説明で、分かりやすく安心して治療が受けられた」と、うれしい感想も頂け、患者様からの期待をとっても感じています。

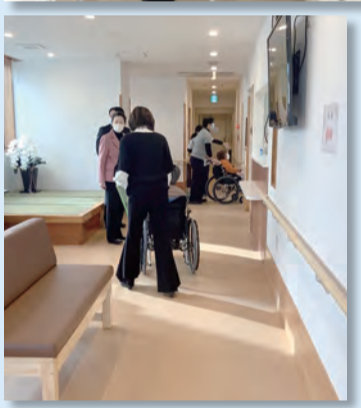
一人一人現状の説明を行い、しっかりと納得してもらった上で、なるべく苦痛がないよう丁寧な治療を行いたいと思います。

高齢化に伴い需要が伸びている歯科訪問診療と、小児歯科も行っていく予定です。

2025年1月27日(月) 岐阜民医連で初めての歯科がオープンしました。名称は「すこやか診療所歯科」です。場所は、旧「すこやか透視センター1階」を改修し、とても広いスペースです。

オープン前の1月19日(日)には内覧会も開催しました。事前に地域回りなどを行い、期待の高さを感じていましたが、この地域は歯科医院も多く、そんなに来場されないのでは?と思う時もありました。しかし当日の来場者は215名と大勢の方に来ていただきました。

民医連の歯科として患者様に寄り添った誠実な歯科医療を目指し、すこやか診療所と併設することで、経済的に困難で歯科に受診出来なかった方も、無料低額診療など利用して受診していただくことができます。



歯科のことで何か困ったことがありましたら、まずはご連絡ください。できる限り寄り添う治療を行っていきたいと思います。痛くなってからではなく、痛くなる前に、歯のチェックを行うよう定期的な受診をおすすめします。これから「すこやか診療所歯科」を宜しくお願い致します。

また、「保険で良い歯科医療を」の署名にもご協力をお願い致します。

介護保険制度の改悪にNO!!

介護福祉部長 湯本 純一



2024年の介護保険制度の報酬改定は、訪問介護(ヘルパー)の基本報酬が下げられるという改悪がありました。2024年の全国の介護事業所の倒産件数(東京商工リサーチ調査)は、172件(事業を停止した休業業・解散含めると784件)で過去最多、そのうち訪問介護事業所の倒産は81件(休業業等含め529件)と多数を占めており、人手不足の他、介護報酬改悪の影響と言わざるを得ません。そこで、私たち岐阜民医連では、岐阜市の訪問介護事業所に介護保険制度の報酬改定に関する影響調査アンケートを行いました。対象事業所は186カ所あり、回答は58カ所からいただきました。結果は予想以上の大変厳しいものであり、経営がやや厳しい・厳しいと答えた事業所は67%、改定に納得できないという事業所が80%という結果でした。このままでは訪問介護事業所がなくなる事態に陥り、最後まで自宅で暮らしたいという利用者さんの願いを叶えられなくなってしまう。

私たちはアンケートの結果を基に、岐阜市の介護保険課の方へ要望を伝えました。また、11月24日に「介護保険を良くするシンポジウム」を開催し、結果について発表しました。新聞社2社の取材と、市議会議員の方の参加もあり、大きな関心を

憲法25条に基づいた ケアが大切にされる社会の実現を

介護保険料の負担

増え続ける保険料負担



12月12日の岐阜市議会において、「令和6年度訪問介護報酬改定の見直しを求める意見書」が全会一致で可決し、岐阜市議会の意見として、政府に対し介護報酬の見直しを行うよう要請されました。私たちのアンケートが重要な役割を果たしたと議員さんから聞いています。

全国の各地からも同じように見直しを求める意見書が採択されていると情報を得ています。一つの力では微弱ですが、多くの意見・要望が、政府を動かす力になることを信じ、これからも取り組みを続けて参りたいと思います。皆さんへお願いさせたい。全国各地から集まっています。引き続きご協力のほどよろしくお願い致します。

健康 春秋

ここ数年モヤモヤしていることのひとつに地域の交通手段の課題があります。自治会によるコミュニティバスの運営、友の会も参加する公共交通を考える会もあり、心強い限りです。▼コミュニティバスやNPO移送サービス、デマンドタクシーなどの素晴らしい仕組みが実践されていますが、さらに使いやすいものがないかと、インターネットなどで調べてもピンときません。免許証返納された方はちょっとした用事で出かけた時どうされているのでしょうか▼健康という観点から考えても、WHO(世界保健機関)は、健康の社会的決定要因のひとつとして医療へのアクセスしやすさを挙げており、暮らす地域の交通環境は健康を左右することです▼単に医療へのアクセスしやすさの問題だけでなく、買い物に出かけることのできる頻度で食生活が大きく変わります。外出機会が減ること長生きの秘訣のひとつと言われている。他者とのかわりが少なくなりますが、また通学事情によっては教育にも影響します。直接、間接を問わず交通手段・公共交通の使い易さがそこで暮らす人たちの健康度を決定します▼簡単に答えはない課題は、岐阜健康友の会のみならずと試行錯誤するのも良さそうです。「交通のストレスなく受診してもらいたい」という医療機関目線ではなく、「交通は私たちのくらしや健康に大きな影響を与えている」というヘルスケアや社会課題からの視点で何か取り組んでみたいと思います。(〇)